



2020.9.5

No. 320

MONTHLY

れんごう



<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

藤盛敏弘

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

連合北海道の政策実現求め 2021年度「要求と提言」を提出

連合北海道は8月7日、次年度の道政運営と予算編成にあたり連合の政策・制度要求を反映するよう求め、北海道に対して「2021年度道政に対する『要求と提言』」を提出した。

また、「政府予算に対する『要求と提言』」については、コロナ禍により要請団の上京を断念したため、札幌において国会議員団会議の荒井会長、徳永幹事長を迎え、政策実現に向けた取り組みへの協力を要請した。

●北海道に対し「2021年度道政に対する『要求と提言』」を提出

冒頭、土屋副知事に要請書を手交した後、藤盛事務局長から要請趣旨を説明し、今後の道政運営や予算編成に反映するよう求めた。続いて、坪田総合政策局長から主な要請事項を説明し、「雇用人材対策基本計画」に関連して学卒者の就職支援など就業環境整備、実効ある食品ロス削減に向けた計画策定、幌延深地層研究センターについては、延長期間が終了する2028年度までに確実に研究を終えるよう国に求めることや、道の確認会議における厳格な精査を求めた。また、コロナ禍への対応に関しては、観光産業の回復支援に向けた人材の育成・確保、公立病院の役割に視点を置いた地域医療構想の具体化を求めた。

要請に応え土屋副知事は、「いずれ起こりうる新型コロナウイルス感染第3波に向け、第2波までの対策を検証し、PCR検査体制のさらなる充実や病床機能の役割分担など、感染拡大防止と社会経済活動の両立などを目指す」とし、どうみん割や市町村商品券、教育旅行などの経済支援等により道内観光や域内消費に目を向けてもらい、感染が一定程度収束した段階でGoToキャン



す」とし、どうみん割や市町村商品券、教育旅行などの経済支援等により道内観光や域内消費に目を向けてもらい、感染が一定程度収束した段階でGoToキャン

ペーン等につなげて道内観光を支援していきたいと述べた。また、食品ロス削減に向けては、フードバンクや子ども食堂と食品業者のマッチング支援や賞味期限の3分の1ルールの見直しなど、食品をむだにしない取り組みを進めるとした。

最後に藤盛事務局長より、「今般のコロナ禍を通じて、一気に困窮する方が現れるなど、日本社会の脆弱性が露呈した。地方財政の課題など、国への要望では同じ方向を持つことも多いので、連合本部のチャンネルなども活用し協力して進めていきたい」とし、連携の必要を強調した。

道政に対する「要求と提言」は、9月の書面回答を経て10月に対道交渉を行う予定だ。

●2021年度「要求と提言」実現に向け国会議員団会議に協力要請

「2021年度政府予算に対する『要求と提言』」については、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大により、中央要請行動のための上京を断念。それに代えて8月7日夕刻、国会議員団会議の荒井会長と徳永幹事長を連合北海道に迎えて、杉山会長より要請書を手交し、今後の国会活動等を通じて、連合北海道の政策実現に向けた協力を要請した。



2021年度政府予算に対する「要求と提言」は、コロナ禍における雇用の維持、医療提供体制や地方財政の充実・確保、教育支援、JR北海道や幌延問題など13省庁263項目にわたり、そのうち北海道として重要度の高い43項目を絞り、厚労、総務、国交、経産、文科省などに重点要望として提出することとした。

荒井会長、徳永幹事長とは、新型コロナウイルスの感染拡大をめぐる諸課題について意見交換。とくに、荒井

を表していた。

最後に猿払村の「樺太との電気通信ゆかりの地」を見学し、真岡の女性電話交換手の最後の言葉を繋ぎ、当時は電気通信の拠点として重要な役割を果たしていた猿払電話中継所跡を見学して旅を終えた。



祈りの塔(稚内市)

猿払電話中継所跡を見学して旅を終えた。

連合がめざす「安心して暮ら

し、働き、労働運動に携わることのできる社会」の実現には、「社会が平和で安定していること」が大前提であり、今後も平和で安定した社会・暮らしの実現をめざすため、平和運動に積極的に取り組んでいく。



猿払電話中継所跡(猿払村)

<この記事のアドレス>

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=5269>

突然のオスプレイ飛来に抗議

連合北海道は、8月4日に米軍横田基地所属のオスプレイ2機が、事前通告もなく、航空自衛隊千歳基地に着陸し、前日には後志管内の上空でオスプレイ3機の日撃情報を受け、5日に北海道防衛局に抗議した。

この間、連合北海道では、墜落事故を繰り返すオスプレイの運用に反対し、周辺自治体では再三にわたる飛行情報の公開を求めてきたにも関わらず、今回のオスプレイ飛来は極めて遺憾であり、日米間の信頼を損なうものであると訴えた。

防衛局からは、情報を得られた場合には自治体に周知しており、今後も情報が得られた場合は引き続きお知らせしたい旨の回答があった。連合北海道からは2013年に高知県で問題となった、「米軍の運用に関わることは承知していない」としながらも国土交通省や防衛省が事前に把握していたことを例にあげ、日米地位協定で認められているだけでは済まされないと抗議した。また、横田

基地で新型コロナウイルス感染症が確認されている中、道民は不安になっていると訴えるとともに、領土問題にも影響があることを指摘した。

連合北海道は、在日米軍の特権を認めた日米地位協定の抜本の見直しを求めるとともに、北海道においても夜間飛行や低空飛行が常態化しないよう、北海道の平和と軍縮を求めていく。



<この記事のアドレス>

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=5198>

マンスリー連合北海道8月号

「連合・平和検定 2020」の解答と解説

本紙先月号(2020年8月発行・No.319)に掲載した「連合・平和検定 2020」の解答は、ホームページからご覧いただけます。解答とともに詳しい解説も掲載されていますので、ぜひご覧ください。



連合 平和検定 2020

検索

QRコードからも
アクセスできます



9月の主な動き

イベントカレンダー

- 2日(水) 16:00
第3回最賃対策委員会/TKP
- 7日(月) 13:00
金属機械部門連絡会/函館市
- 17日(木) 13:30
中央執行委員会/WEB

- 24日(木) 10:15
第12回執行委員会/
ニューオータニイン札幌
- 24日(木) 13:30
第77回地方員会/
ニューオータニイン札幌

- 24日(木) 15:30
第11回地協事務局長会議/
ニューオータニイン札幌